子どもの事故防止調査事業概要

平成30年7月6日

消費者庁消費者安全課





子どもの事故防止



我が国では窒息や溺水、転落を始めとする日常生活上の事故等により、14歳以下の子どもが毎年300名ほど死亡しており、子どもの事故を防止する取組が必要

消費者庁は28年6月に「子供の事故防止に関する関係府省庁連絡会議」を立ち上げ、関係府省庁の司令塔として連携を強化し、取組を推進している。

平成29年度子どもの事故防止調査

- ・保護者及び出産予定夫婦等へのアンケートによる意識調査等
- ・平成30年5月に報告書を公表

徳島県内での子どもの事故防止への取組

- ・県内の0~6歳児の保護者、保育士、幼稚園の先生、医療関係者等に向けた啓発活動
- ・保護者向けチェックリストを用いた乳幼児健診時の啓発活動(県内4市町)

29年度の主な成果

- ・平成29年度子どもの事故防止調査の実施。
- ·子どもの事故防止プロジェクトネットワーク会議を3回実施。 同会議構成機関による啓発活動の実施。

【「子どもを事故から守る! プロジェクト」 シンボルキャラクター 「アブナイカモ」】





平成30年度は、調査結果を踏まえた啓発活動を実施



1. 平成29年度子どもの事故防止調査

【実施時期】 平成30年1月~平成30年3月

【調査対象】 ·0~6歳児保護者 ·出産予定夫婦 ·保育士

【内容】 子どもの事故の知識、事故防止への対策、事故の経験、 応急手当の研修経験、情報の入手先、子育て環境等

【調査の特徴】

- ・0歳児、1~3歳児、4~6歳児に調査票を分け、 発達段階に応じた質問項目及び共通した項目に設計
- ・父親と母親の違いを把握
- ・モデル地域とその他地域の比較を可能に

【公表】 平成30年5月

消費者庁HPにて報告書掲載

URL: http://www.caa.go.jp/future/project/project_006/

調査対象



調査種別		調査対象者			
保護者アンケート	徳島市0歳児調査	徳島市の住民基本台帳から抽出した0歳児の保 護者(両親)(1,000世帯)。2,000人配布			
	乳幼児健診調査	平成29年9月~12月にモデル4市町で実施された 乳幼児健診を受診した0~3歳児の各年齢の保護 者(両親)。3,050人配布			
	保育園·幼稚園調査	モデル4市町に加えて徳島市、北島町、松茂町の 保育園・幼稚園と事業所内保育園に通う0~6歳 児の保護者(両親)。6,594人配布 (各7市町の保育園各2施設・幼稚園各2施設と事 業所内保育園1施設)			
出産予定夫婦アンケート	出産予定夫婦調査	徳島市で行われているパパママクラスや鳴門市で行われているマタニティー教室に参加しているこれから保護者になる方(妊婦と夫)。及び徳島市内の産婦人科に通院しているこれから保護者になる方(妊婦と夫)。290人配布			
保育士 アンケート	保育関係者調査	徳島県や徳島県保育事業連合会が主催する保育 関係者向けの研修会に参加した保育関係者。179 人配布			

調査方法及び調査期間



調査種別		調査方法	調査期間		
	徳島市0歳児調査	郵送配布 / 郵送回収又はWEB回答			
保護者 アンケート	乳幼児健診調査	郵送配布又は手渡し/ 郵送回収又はWEB回答	平成30年 1月19日~2月28日		
	保育園·幼稚園調査	各施設から手渡し/ 郵送回収又はWEB回答			
出産予定夫婦アンケート	出産予定夫婦調査	各施設から手渡し/ 郵送回収	平成30年 2月4日~3月16日 報告書における 数値は 2月28日までの集計 分		
保育士 アンケート	保育関係者調査	会場配布 / 会場回収	平成30年1月7日 平成30年1月12日		

配布数·回収率等



			有効回収数(人)					
	対象者	配布数(人)	父親	母親	他	計	有効回収率	
	0歳児	3,682	577	719	9	1,305	35.4%	
保護者	1~3歳児	4,156	376	547	6	929	22.4%	
П	4~6歳児	3,806	186	331	1	518	13.6%	
	合計	11,644	1,139	1,597	16	2,752	23.6%	
	対象者	配布数(人)	男性	女性	不明	計	有効回収率	
出產	全予定夫婦	290	38	46	7	91	31.4%	
	育士· 育従事者	179	6	143	8	157	87.7%	

調査結果のポイント



事故に関連する知識の習得、事故防止の対策を実施している割合は、**父親に比べ母親の方が総じて高かった**。

乳幼児で起こりやすい事故の一つである誤飲等が起きた 場合の**応急手当についての研修経験割合は父親も母親も** 低かった。

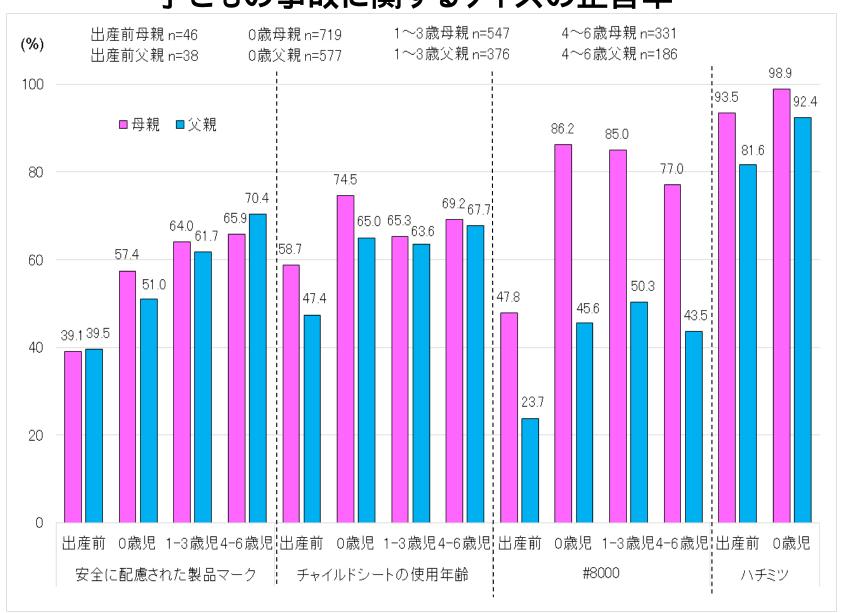
0歳児の保護者が「事故防止ハンドブック」を用いて啓発したモデル4市町と、それ以外の地域を比較すると、「事故防止ハンドブック」を「持っており、全部のページを読んだ」又は「持っており、気になるところを読んだ」と回答した割合は、モデル4市町の方が高かった。

チャイルドシートは子どもの年齢が高いほど使用割合が 低い。

調査結果 父母間で差があった調査結果



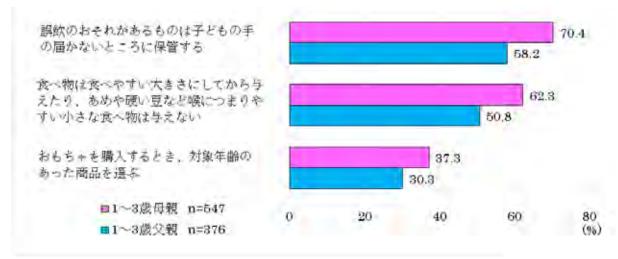
子どもの事故に関するクイズの正答率



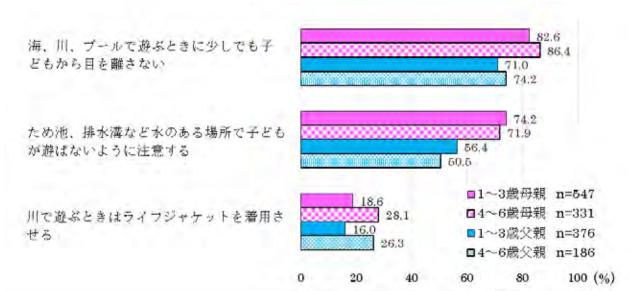
調査結果 父母間で差があった調査結果



誤飲・誤嚥防止対策を「行っている」と回答した1~3歳児父母



水の事故防止対策を「行っている」と回答した父母



調査結果 応急手当の研修経験



出産予定夫婦と保護者の応急手当研修への参加経験について

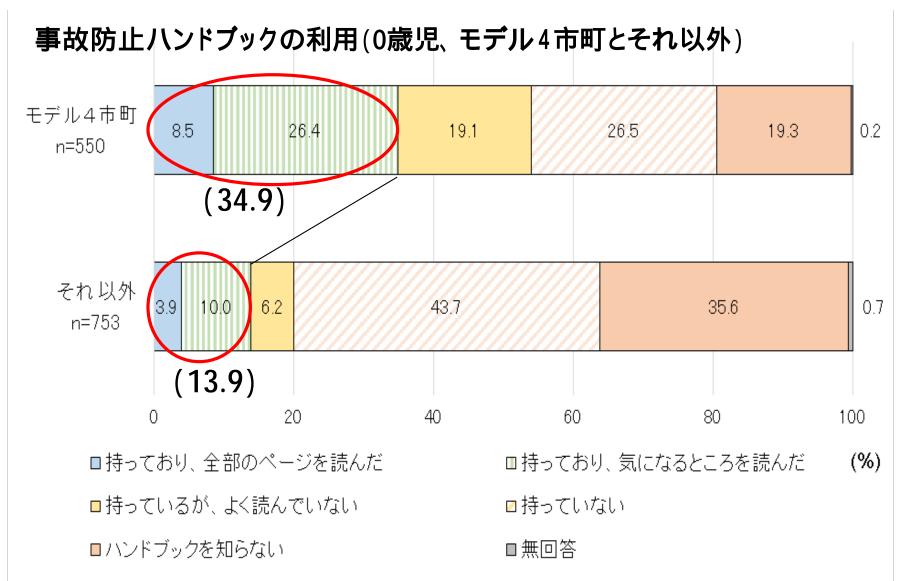


・異物がのどにつまった時の対処法等の応急手当についての研修経験割合が低かった。

調査結果

事故防止ハンドブックの地域別利用結果 🎸 消費者庁



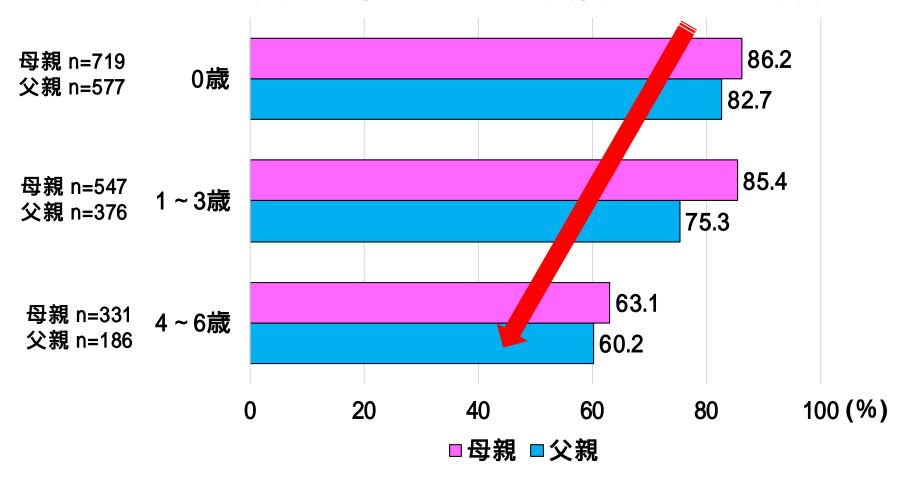


・ハンドブックを読んだ割合はモデル地域で高かった。

調査結果 チャイルドシートの使用



チャイルドシート使用を「行っている」と回答した父母の割合



・チャイルドシートの使用について、おぎゃっと21(5月)、子ども安全 メール、ツイッターで啓発。

子どもの事故防止プロジェクト関係者ネットワーク会議 🎸 消費者庁

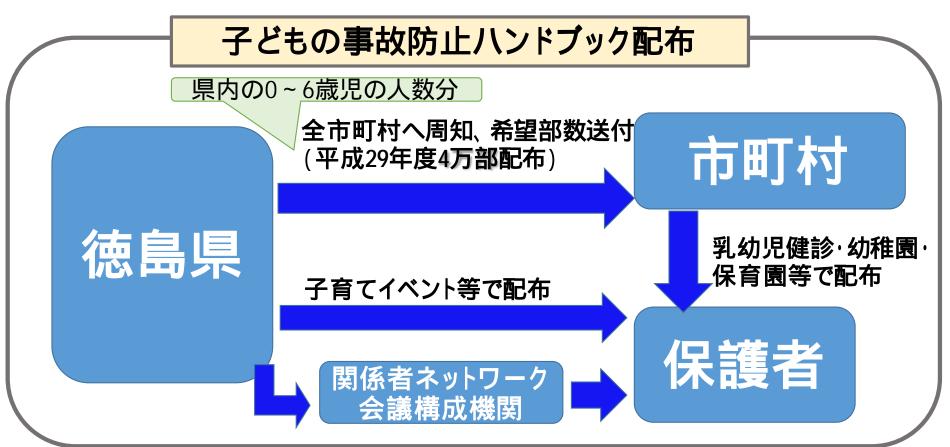


「子どもの事故防止プロジェクト関係者ネットワーク会議」は、徳島県、消費者庁を始めとし た、徳島県内の医師会、助産師会、看護協会、子育て支援団体等の関係機関が連携し、多様 な関係者が有しているノウハウをもとに、保護者や祖父母等の多様な対象者に合わせた啓発 活動を行い、事故防止の効果を高め、子どもの不慮の事故防止に向けた事業を推進することを 目的に平成29年7月に設置された。

子どもの事故防止プロジェクト関係者ネットワーク構成組織
(一社)徳島県医師会
(一社)徳島県助産師会
徳島文理大学人間生活学部児童学科
特定非営利活動法人子育て支援ネットワークと〈しま
プラチナ保健師、子育てボランティア
徳島県保育事業連合会
県国公立幼稚園・こども園長会
徳島県保健所長会
徳島市保健センター
鳴門市役所健康福祉部健康増進課
消費者庁消費者安全課
徳島県危機管理部消費者〈らし安全局
徳島県看護協会



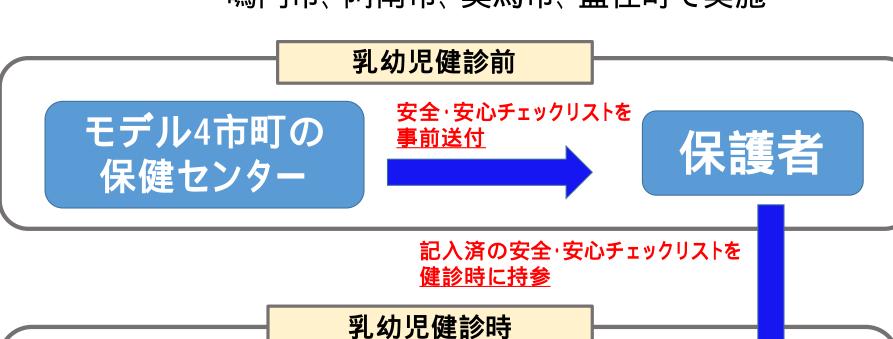
2.0~6歳児の保護者向けに子どもの事故防止 ハンドブックを配布





3. 徳島県のモデル事業(平成29年度)

鳴門市、阿南市、美馬市、藍住町で実施



保護者

<u>記入内容をもとに</u> 「事故防止ハンドブック」を用いて指導

モデル4市町の保健センター



4. 保護者に向けた啓発: おぎゃっと21への参加

県下最大の次世代育成支援イベントに、子どもの事故防止に 関する取組の一環として、消費者庁と徳島県が合同でブースを 出展(平成30年5月)



体験型イベントによる事故防止の啓発



オリジナル自転車用ヘルメット作り



キッズデザイン賞受賞作品の展示



徳島県内で実施した「子どもの事故防止調査」の 結果を踏まえた啓発パネル展示



会場を訪問したアブナイカモ&すだち〈ん



5. 保護者に向けた啓発: キッズデザイン賞受賞作品展示

- ・イオンモール徳島子育てイベント【平成29年11月24日】
- ·全国子育てひろば実践交流セミナー in 高知 【平成29年12月2日】
- ·子育てほっとスペース すきっぷ 【平成29年12月4日~平成29年12月8日】
- ·第2回とくしま木のおもちゃまつり@ゆめタウン徳島 【平成29年12月9日】
- ・おぎゃっと21【平成30年5月3日】

キッズデザイン賞受賞作品展示





イオンモール徳島子育てイベント



子育てほっとスペース すきっぷ



全国子育てひろば実践交流セミナー



第2回とくしま木のおもちゃまつり



- 6. 県内の保育士、幼稚園の先生、医療関係者等に向けた啓発
 - ·平成29年度事業所内保育施設等保育従事者研修会 【平成30年1月7日】
 - ·平成29年度徳島県·徳島県保育事業連合会(共催事業) 【平成30年1月12日】
 - ・子どもの事故防止プロジェクト医師等講演会【平成30年2月9日】
 - ・とくしま家庭教育のつどい【平成30年2月24日】

それぞれで子どもの事故防止に関する講演会等を実施。また、事故防止ハンドブック等の啓発資料を配布。





事業所内保育施設等保育従事者研修会



とくしま家庭教育のつどい



子どもの事故防止プロジェクト医師等講演会

